

高小だよいい

令和4年8月号

一学期が終了しました！（ありがとうございました。）

4月にスタートした令和4年度1学期が7月19日に終了しました。新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら、運動会、修学旅行等の行事、読み聞かせボランティア等の地域の方々と連携した活動や校外学習、そして、水泳学習も行うことができ、ご協力をいただいたご家庭や地域の方々に深く感謝申し上げます。

自分の目標に向かって有意義な夏休みにしてほしいと思います



【ふるさと井原魅力発見事業（1） 7月5日（火）】



4年生が「ふるさと井原魅力発見事業」として、美星天文台、中世夢が原、タカヤ商事へ行きました。まず、美星天文台では、瀬戸内海まで見える立地や巨大な101cm望遠鏡の操作やドームの開閉等を見学しました。また、4D2U（国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクト）も体験しました。これは、最近の天文データに基づいた宇宙の構造や進化をコンピューターを使って太陽系や宇宙の映像を立体的に映し出すものです。みんな美星天文台の素晴らしさに感心しました。次に、竹とんぼづくりの体験をしました。ナイフを使って竹を削って仕上げました。中世夢が原でお弁当を食べた後、地元のタカヤ商事の見学をしました。デザインを考えたり、裁断や洗いを大きな機械やコンピューターで行ったり、人がミシンで縫ったりと、井原ジーンズが実際に出来上がるころを真剣に学習しました。

みんな、ふるさと井原の素晴らしいことを直接学ぶことができ、大満足でした。

【ふるさと井原魅力発見事業（2） 7月8日（金）】



「ふるさと井原魅力発見事業」として、6年生は「井原市文化財センター まほろば館」に行きました。まほろば館では、まず「勾玉づくり体験」をしました。勾玉の形をイメージして石を切り、いろいろな紙やすりで、何度も何度も削って成形していきました。最終的には、水の中で磨き上げて自分だけのオリジナル勾玉を完成させました。その後、館内に展示してある井原で出土した土器や青銅器などを熱心に見学しました。教科書や写真でしか見たことのない様子や本物の展示物を直に見ることのできる施設が井原にあることを初めて知った児童も多く、ふるさと井原の魅力をまた一つ見つけたようでした。

【1学期終業式 7月19日（火）】

新型コロナウイルス感染防止対策と熱中症予防対策として、1学期終業式をリモートで行いました。「あいさつがよくなっている人が増えていると、地域の方から言われました。さらに、みんなのあいさつで学校と高屋の町を明るく元気にしましょう。」と校長から児童へ呼びかけを行いました。続いて、児童が取り組んでいる「高屋小学校スタンダード（あいさつ・廊下歩行・やさしい言葉）」と「高屋小学校学習スタンダード（集中して学ぶ・正しい姿勢・学習の準備）」について「1学期の自分の振り返り」をしました。6つの項目について3点満点で自己評価して挙手で表現しました。1学期の自分の頑張りを自覚し自己肯定感の高揚につなげて欲しいと思います。また、高屋小学校が良くなるように考え行動したり、下級生に優しく接してくれて「みんな笑顔の1学期」を支えてくれた6年生にみんな感謝の気持ちを伝えました。「6年生のみなさん、ありがとうございました。」

